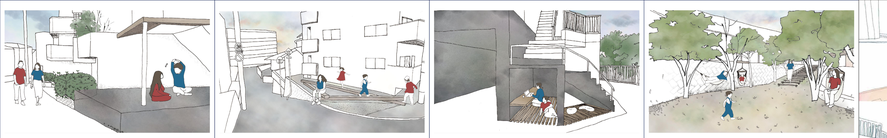
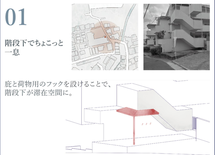


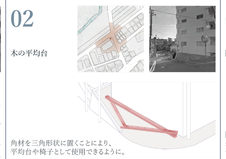
01 階段下でちょっと一息

底と荷物用のフックを設けることで、階段下が滞在空間に。



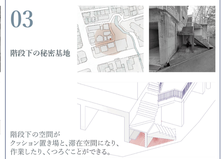
02 木の平均台

角材を三角形状に置くことにより、平均台や椅子として使用できるように。



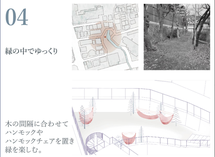
03 階段下の秘密基地

階段下の空間が
クッション置き場と、滞在空間になり、
作業したり、くつろぐことができる。



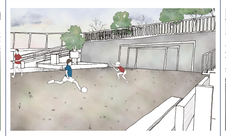
04 緑の中でゆっくり

木の間隔に合わせて
ハンモックや
ハンモックチェアを置き
緑を楽しむ。



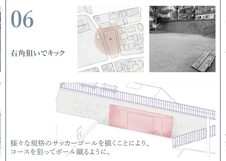
05 切り株スタジアム

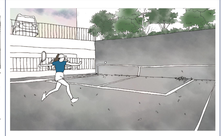
公園の切り株の切断面を薄く削ることで
ごま回しの土俵に。



06 石角負いでキック

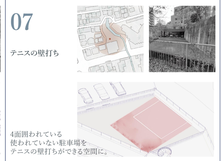
様々な規格のサッカーボールを置くことにより、
コースを彩ってボール蹴るように。





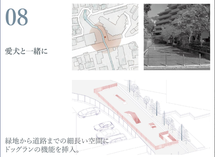
07 テニスの壁打ち

4面囲われている
使われていない駐車場を
テニスの壁打ちができる空間に。



08 愛犬と一緒に

緑地から道路までの細長い空間に
ドッグランの機能を挿入。

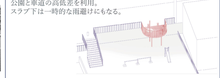


09 腰掛けポール

高さの違う棒を差し込むことで、それに足を乗せて、
腰掛ける、棒に腰掛けることが可能に。

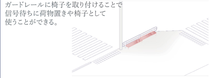
10 上下をつなぐ棒

公園や車道の高低差を利用。
スラブ下は一時的な雨避けにもなる。



11 信号待ちに休憩

ガードレールに椅子を取り付けることで
信号待ちに荷物置きや椅子として
使うことができる。



12 省スペースな椅子

座面の上げ下げ可能な椅子をとりつけることで、
ニーズに合わせて使用可能。

13 傘のあるバス停

電柱に傘をつけることで
バス停での待ち時間が快適に。

14 くぼみに座る

くぼんでいる部分に
椅子で囲れるようにすることで
滞在空間に。

15 街の本棚

建物の間に本棚を設け、
誰でも読める街の本棚とする。

色づく街の余白

い　背景　～幼少期の私と街との関係～

私は幼少期、建物の隙間を秘密基地と呼称して待ち合わせ場所にしていたり、マンションで鬼ごっこをしたりしていた。
当時の私にとって、街全体が遊び場であり、活動の拠点であった。
確かにこの街で“暮らしている”実感があった。

ろ　住むと暮らす　～私たちと街の関係性～

住むと暮らすという言葉は似て非なるものである。主な違いとして「住む」は過ごす場所を意味しているのに対し、「暮らす」は時間を過ごす内容に意味の重きが置かれている。現在の私たちは自宅や通勤、通学先で活動しするばかりであり、確かに私たちは街に住んでいるが、ただ住んでいるだけで、暮らしている実感がないのではないか。

住む
住居を決めてそこで生活する

暮らす
過ぎていく時間を過ごす

は　主旨　～現代の街中で暮らすためには～

街の中に建物の間や階段下などのあまり人目につかない空間＝“余白”が存在する。かつての私はこのような場所を見つけ、遊び場としていた。街の余白に目を向け、居場所を見出していくことこそが「私はこの街で暮らしている」と実感する大きな要因となっているのではないかと考える。住民が単に街に住んでいる状態から、街の余白を通して住民が街で暮らしている状態になることを手助けするような余白のデザインを提案する。

街の中に余白を見出し、活用する

に　街が色づくまでの手引き　～余白のデザイン～

ひ　余白を見つける　～街歩きによる敷地調査と実測～

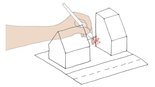
街中を練り歩き、余白を見つけ実測を行う。
実測については実際の振る舞いを想定するために自分の身体を使って寸法を測る。

私の身体寸法一例

対象敷地　～兵庫県神戸市中央区新神戸駅周辺～

ふ　余白をデザインする

得られた寸法より、街の余白に対して設計物の付加により
街中に新たな居場所・新たな価値の創出を行う。

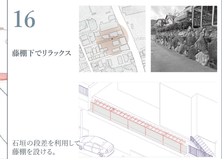


み　人々が利用し街が色づく

街の人々が色づいた余白を認識し、利活用する。
利活用した人々や、利活用の様子を見た通りがすがりの人々は街中での新たな街の居場所を認識することとなり、その経験が私はこの街で暮らしているという感覚に結びつく。街に対して愛着感が湧き、余白の利用が活発になる。結果としてそれぞれの余白に独自の色がつく。

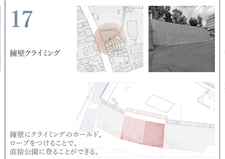
16 藤棚下でリラックス

石垣の段差を利用して
藤棚を設ける。



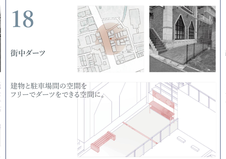
17 擁壁クライミング

擁壁にクライミングのホールド、
ロープをつけることで、
直接公園に登ることができる。



18 街中ダーツ

建物と駐車場間の空間を
フリーでダーツをできる空間に。

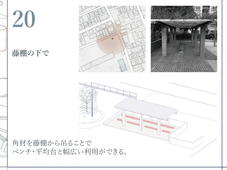


19 緑の中で屋外ヨガ

ヨガマットとそれを収納する
フックを設置することで
マットを持参せずに気軽に
ヨガができるように。

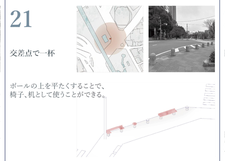
20 藤棚の下で

角材を藤棚から吊ることで
ベンチ・平均台と幅広い利用ができる。



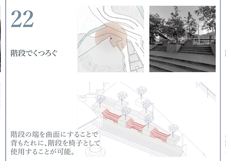
21 交差点で一杯

ポールの上を平たくすることで、
椅子、机として使うことができる。



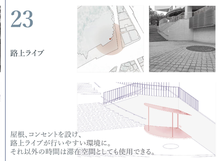
22 階段でくつろぐ

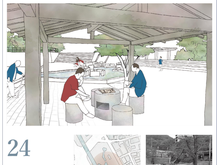
階段の端を曲面にすることで
背もたれに、階段を椅子として
使用することが可能。



23 路上ライブ

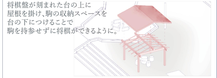
屋根、コンセントを設け、
路上ライブが行いやすい環境に。
それ以外の時間は滞在空間としても使用できる。





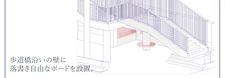
24 街中で将棋

将棋盤が刻まれた台の上に
屋根を掛け、側の収納スペースを
台の下につけることで
駒を持参せずに将棋ができるように。



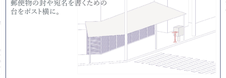
25 ボードに落書き

歩道橋沿いの壁に
落書き自由なボードを設置。



26 宛て名書き台

郵便物の封や宛名を書くための
台をポスト横に。

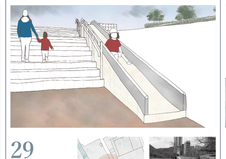


27 ポールに座って一息

ポール上部を曲面にすることで、
ちょうど腰くらいの高さでもたれることができる。

28 ブロック塀にて

ブロック塀の厚みを2倍にすることで、座る、上を歩く、腰掛けるなど
の使い方ができるように。



29 階段横で滑る

公園の階段横の部分を滑り台にすることで
階段以外の活用が可能に。

30 花壇と座席スペース

駐車場横の石垣の上面を
花壇とベンチに。
花壇の花を見ながら休憩ができる。